

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【公表番号】特表 2002-534755 (P2002-534755A)

【公表日】平成 14 年 10 月 15 日 (2002.10.15)

【出願番号】特願 2000-593135 (P2000-593135)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/023 (2006.01)

H 0 3 M 11/08 (2006.01)

G 0 6 F 17/22 (2006.01)

G 0 9 G 5/24 (2006.01)

H 0 3 M 11/04 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/023 3 1 0 K

G 0 6 F 17/22 5 0 2 J

G 0 9 G 5/24 6 3 0 S

G 0 9 G 5/24 6 7 0

G 0 6 F 3/023 3 1 0 L

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 8 日 (2007.5.8)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【書類名】明細書

【発明の名称】アクセント記号或いは伸張をもつ英数文字を電子装置に入力するための方法及び装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アクセント記号或いは伸張を持つ英数文字を電子装置に入力する方法であって、
 (A) 基本文字をキーボードを使用して当該装置に入力し、表示装置に基本文字を表示し、
 (B) 複数のアクセント記号及び伸張を有するテーブルを、前記表示装置上に表示し、
 (C) 前記テーブルから所定のアクセント或いは伸張を選択し、
 (D) 前記表示装置上にて、前記基本文字を、前記基本文字、及びステップ (C) において選択されたアクセント記号或いは伸張を有する複合文字に置き換えること、
 を特徴とする方法。

【請求項 2】

ステップ (B) において、表示されたテーブルでのアクセント及び伸張は、ステップ (A) において入力された基本文字に応答して指示されることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

ステップ (C) において最も選択される可能性のあるアクセント或いは伸張は、ステップ (B) において表示されたテーブルの最上部に表れることを特徴とする請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】

ステップ (A) において使用されるキーボードは、マルチキーストロークキーパッドで

あることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

前記電子装置は、携帯電話であること特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】

アクセント記号或いは伸張を持つ英数文字を電子装置に入力するための装置であって、
(A) ユーザによって選択された基本文字を代表する信号をコントローラへ伝送するキーパッドと、

(B) 前記コントローラに連結され、ユーザに対して前記基本文字を表示する表示手段を具備し、

前記基本文字がユーザによって選択された後、前記表示装置はユーザに対して複数のアクセント記号及び伸張を有するテーブルをさらに表示し、前記キーパッドは、ユーザによる前記テーブルからのアクセント記号或いは伸張の一つの選択に応答して、前記テーブルからのアクセント記号或いは伸張の一つを代表する信号を前記コントローラに伝送し、

前記テーブルからのアクセント記号或いは伸張の一つを代表する信号に応答して、前記コントローラは前記表示手段に信号を送り出し、前記表示手段に表示された基本文字を、ユーザによって前記テーブルから選択されたアクセント記号或いは伸張と前記基本文字とからなる複合文字に置換すること、

を特徴とする装置。

【請求項 7】

前記表示装置に表示されたテーブル中のアクセント記号或いは伸張は、ユーザによって選択された基本文字に応答して指示されることを特徴とする請求項 6 記載の装置。

【請求項 8】

ユーザによって最も選択される可能性のあるアクセント或いは伸張は、表示装置において表示されたテーブルの最上部に表れることを特徴とする請求項 7 記載の装置。

【請求項 9】

前記キーボードは、マルチキーストロークキーパッドであることを特徴とする請求項 6 記載の装置。

【請求項 10】

前記電子装置は、携帯電話であること特徴とする請求項 6 記載の装置。

【請求項 11】

前記表示装置に表示されたテーブル中のアクセント記号或いは伸張は、選択された言語に応答して選択され表示されることを特徴とする請求項 6 記載の装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、一般的には、英数文字を電子装置入力するためのシステムに関する。より具体的には、本発明は、アクセント記号 (accents) 或いは伸張 (extensions) を有する文字を電子装置に入力するためのシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】

マルチキーストローク キーパッドは、当該分野では良く知られている。このようなキーパッドでは、英数文字キーのそれぞれは、所定の数字と幾つかのテキスト文字に結びつけられている。

【0003】

例えば、キーパッド上の第 2 番目のキーは、典型的に、数字の "2" 及びテキスト文字としての "A", "B", and "C" に結びつけられている。このようなキーを使用して電子装置にテキスト文字を入力するためには、ユーザは、"A" を入力するために一度当該キーを押し、"B" を入力するために二度当該キーを押し、"C" を入力するために三度当該キーを押すことになる。

【0004】

英語以外の言語、例えばフランス語、スペイン語は、テキスト文字の上にアクセント記号が使用される。このようなアクセント記号の使用に適應するために、既知のマルチキーストロークキーパッドでは、3個以上のテキスト文字を単一のキーに結び付ける。例えば、次の(1)に示すような文字は、単一のキーに結びつけられている。

【0005】

【数1】

(1) “À”、“Á”、“A”、“B”及び“C”

当該キーに結びつけられた文字数の増加を原因として、ユーザは、当該キーによって結びつけられた特定文字を選択するために、4回或いは5回ものキー押しを要求される。特定文字を選択するために5回ものキー押しをユーザに要求することは、望ましくない。すなわち、例えばキーストロークの数が多くなることで、ユーザを苛立たせる可能性もあり、また、ユーザの正確な操作を困難にする可能性がある。

【0006】

そこで、ユーザが、マルチキーストロークキーパッドを使用して、アクセント記号或いは伸張をもつ文字を装置に入力可能とし、当該ユーザに要求される情報の入力のためのキーストローク数が最小となるようなシステムが存在することが望ましい。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

本発明は、上記事情を鑑みてなされたもので、アクセント記号或いは伸張をもつ英数文字を電子装置に入力するための方法及び装置を提供することを目的としている。

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明は、上記目的を達成するため、次のような手段を講じている。

【0009】

本発明は、電子装置にアクセント記号或いは伸張を有する英数文字を入力するための装置及び方法を示すものである。基本文字はキーパッドを使用して装置に入力され、そして表示装置に表示される。続いて、複数のアクセント記号或いは伸張を有するテーブルは、ユーザに対して表示装置に表示される。するとユーザは、自身が基本文字の結びつけを希望するテーブルからアクセント記号或いは伸張を選択する。ユーザによってテーブルからアクセント記号或いは伸張を選択した後、基本文字は、表示装置上にて、テーブルからユーザによって選択されたアクセント記号或いは伸張、及び基本文字からなる複合文字に置換される。

【0010】

特に好ましい実施形態では、ユーザに対して表示されたテーブル中のアクセント記号或いは伸張は、ユーザによって入力された基本文字に応じて、及び/又はユーザによって入力された言語選択に応じて、命令される。本実施形態では、ユーザによって最も選択されやすいアクセント記号或いは伸張は、ユーザによって入力された基本文字と言語とに基づいて決定され、最も可能性のある伸張或いはアクセント記号が、ユーザに対して表示されたテーブルの最上部に配置される。本発明の側面は、ユーザがテーブルから所望のアクセント記号或いは伸張の迅速に選択することを促進するものである。

【0011】

本発明の特徴、目的及び効果は、以下に述べる説明及び関連する添付の図面からより明らかになるであろう。

【0012】

【発明の実施の形態】

図1に示すように、本発明の好ましい実施形態に従った、アクセント記号或いは伸張を

有する英数文字を、例えば携帯電話、携帯電話等の電子装置に入力する方法 100 のフロー図が示されている。ステップ 110 において、ユーザは、マルチストロークキーパッドを使用して装置に基本文字（例えば、アクセント記号或いは伸張を持たないテキスト文字）を入力する。ステップ 120 において、ステップ 110 にて入力された基本文字は、ユーザに向けて表示装置に表示される。続いて、ステップ 130 及び 140 において、アクセント記号或いは伸張 210 を含み基本文字と結びつけられたテーブル（例えば、図 2 に示すテーブル 200）は、ユーザのために準備され表示される。テーブル 200 中のアクセント記号或いは伸張 210 は、ユーザによって入力された基本文字に応答して指示される。より具体的には、基本文字に結びつけられる可能性があるアクセント記号或いは伸張は、ユーザによって入力された基本文字に基づいて決定され、また、ユーザによって最も選択され易い伸張或いはアクセント記号 210 は、テーブル 200 の最も上の位置に配置される。本発明のこの視点によって、ユーザによるテーブルからの所望のアクセント記号或いは伸張の迅速な選択は促進される。ステップ 150 において、ユーザは、例えば、スクロールし表示されたアクセント記号或いは伸張 210 の一つを選択するためのキーパッド或いは装置上のスクロールボタンを使用することで、アクセント記号或いは伸張 210 の一つを選択し基本文字に関連付ける。ユーザがテーブル 200 から所望するアクセント記号或いは伸張 210 を選択すると、ステップ 160 において、基本文字は、ユーザによってテーブルから選択された基本文字、及びアクセント記号或いは伸張からなる複合文字に、表示装置上で置き換えられる。その結果、例えば、ステップ 110 においてユーザに選択された基本文字が "A" に対応し、またステップ 150 において選択されたアクセント記号が以下に示す (2) に対応する場合には、ステップ 160 において基本文字 "A" は、以下に示す複合文字 (3) に置き換えられる。

【0013】

【数 2】

(2) “ $\acute{\text{A}}$ ”

(3) “ $\acute{\text{A}}$ ”

図 3 においては、図 1 に示した方法を実行するためのシステム 300 のブロック図が示されている。システム 300 は、マルチキーストローク キーパッド 310 を有しており、当該マルチキーストローク キーパッド 310 は、ユーザが選択した基本文字を代表する信号をコントローラ 320 に伝送する。表示装置 330 はコントローラ 320 と連結され、ユーザに対して基本文字を表示する機能を有する。

【0014】

コントローラ 320 はメモリ 340 に連結されている。メモリ 340 は、ユーザによって入力されうる各基本文字についての、アクセント記号或いは伸張の独立した指示リストを記憶することが好ましい。メモリ 340 内に記憶された指示リストのそれぞれは、リストの最上段に配置されたユーザによって選択される最も可能性のある伸張或いはアクセント記号であって、基本文字を与えるためにユーザによって選択されるアクセント記号或いは伸張に対応することが好ましい。基本文字の選択に応答して、コントローラ 320 は、メモリ 340 から基本文字に結びつけられたアクセント記号 / 伸張リストを検索する。また、コントローラ 320 は、例えばテーブル 220 の様な所定のテーブルの形式にてリストを表示する表示装置 330 に、アクセント記号 / 伸張リストを代表する信号を送信する。

【0015】

アクセント記号 / 伸張のテーブルがユーザに対して表示されると、ユーザは、キーパッ

ド 3 1 0 を使用して、テーブルから基本文字に結びつけられたアクセント記号 / 伸張を選択する。なお、キーパッド 3 1 0 は、選択されたアクセント記号 / 伸張を代表する信号をコントローラ 3 2 0 に伝送する。上記信号に応答して、コントローラ 3 2 0 は、表示装置 3 3 0 に信号を送信し、当該表示装置 3 3 0 上の基本文字を、ユーザによってテーブルから選択された基本文字、及びアクセント記号或いは伸張からなる複合文字に置き換える。

【 0 0 1 6 】

以上述べた好ましい実施形態によれば、当該分野の技術を有する者は本発明を製造或いは使用できる。上述した実施形態についての種々の改良は、当該分野における技術を有する者にとって容易に明らかであり、本明細書において定義された包括原理を、発明的能力を使用することなしで他の実施形態に適用することも可能である。すなわち、本発明は、本明細書にて示した方法及び装置に限定する趣旨ではなく、特許請求の範囲と矛盾しない最も広い範囲に従うものである。

【 0 0 1 7 】

また、上記実施形態には種々の段階の発明が含まれており、開示される複数の構成要件における適宜な組み合わせにより種々の発明が抽出され得る。例えば、実施形態に示される全構成要件から幾つかの構成要件が削除されても、発明が解決しようとする課題の欄で述べた課題が解決でき、発明の効果の欄で述べられている効果の少なくとも 1 つが得られる場合には、この構成要件が削除された構成が発明として抽出され得る。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

図 1 は、本発明の好ましい実施形態に従った、アクセント記号或いは伸張を有する英数文字を電子装置に入力する方法のフロー図である。

【図 2】

図 2 は、本発明に従った、基本文字に組み合わせられる可能性のあるアクセント記号或いは伸張を表示するための模範的なテーブルを示している。

【図 3】

図 3 は、本発明の好ましい実施形態に従った、アクセント記号或いは伸張を有する英数文字を電子装置に入力するシステムのブロック図である。

【符号の説明】

- 2 0 0 ... テーブル
- 2 1 0 ... アクセント記号或いは伸張
- 3 0 0 ... システム
- 3 1 0 ... マルチストロークキーパッド
- 3 2 0 ... コントローラ
- 3 3 0 ... 表示装置
- 3 4 0 ... メモリ